



VOL.32
2021.4.23 発行



てらの の みつ の ぶ
寺野 光敦
管理部 次長

本社管理部次長の寺野光敦さんは、入社以来、トラックドライバーや新規営業所の立ち上げなど、様々な業務に携わってきました。現在は管理部門の立場で南星キャリアックス株式会社の社員を支えています。これまでに経験してきた印象深い仕事や若手社員へのアドバイス、今後の目標について語ってもらいました。

—— **まずは入社の際について教えてください。**

南星キャリアックスには20代の頃、トラックドライバーや業務職員として9年ほど勤めていた時期があるので、入社は2回目となります。一度退職した後はメーカーに勤務していたのですが、2000年（平成12年）、知立営業所の立ち上げに際して、当時の野村専務から「戻ってくる気はないか」と声を掛けていただいたのです。妻に相談すると、「やりたい仕事なら転職してもいいんじゃない？でも

お金は稼いできてね！」と背中を押してくれたので、あまり迷わず再入社を決意しました。知立営業所の立ち上げには2年ほど携わり、その後は豊田営業所へと異動しました。

11年ほど在籍した豊田営業所は、スタート時のメンバーが自分と事務員の飛松さんの2人だけ。どうなることかと不安はありましたが、周囲に助けられ営業所を成長させることができました。当時いたスタッフは皆、「豊田営業所を一番にする」という思いが強く、時には意見を衝突させながらも、目標を一つにして仕事に打ち込めたのです。今となっては良い思い出となっています。

—— **これまでに印象に残っている仕事はありますか。**

豊田営業所にいた頃、雪の被害に見舞われた日の業務でのことです。トラックの便が間に合わず、自分が朝早くから大型トラックで

来てしまえば、お客様先の製造ラインを止めてしまいかねません。しかし、本人の頑張りや他のドライバーの協力を得て、翌日の朝を迎える頃には挽回できました。

夜勤の点呼者が常駐する現在なら、そんな失敗はあり得ないのですが、当時は勤務時間に合わせて自宅から通ってくるという体制。配属された当初は、自分も名古屋の自宅から通っていましたが、単身赴任の許可をいただいていたからは



お客様のところへ向かい、やっとの思いで戻ってきたのが夜10時近く。そこからもうひと仕事をこなさなければならなかったのですが、それを手伝うためにスタッフや班長、ドライバー全員が自分の帰りを待っていてくれたのです。皆で一斉に取りかかった作業は一切の無駄がなく、あっという間に完了。お客様から掛けてもらった「南星キャリアックスのチームワークはすごいですね」というお褒めの言葉を、今でもよく覚えています。作業がすべて終わった後、皆で飲んだ缶コーヒートの味は格別でした。

—— **営業所の雰囲気伝わってくるような素敵なエピソードですね。**

会社全体が互いにフォローし合える良い関係だと思います。ある時は、夜勤のドライバーが寝過ぎてしまい、出発が2時間遅れるという失敗がありました。便が遅

営業所にも通いやすくなりました。スタッフも増員されたため、この時のようなミスは、今はもうありません。社員のチームワークと会社のフォローアップに感謝しています。

—— **若手社員にメッセージをお願いします。**

若いうちは、上司からの頼まれ仕事やイヤだなあと思う仕事も多いかもかもしれませんが、それらは後々、絶対に役に立つものです。現場で一生懸命に取り組めば、周りの人も認めてくれます。無駄な仕事なんて一つもありません。すべてが積み重ねになりますから、経験値を上げるためにも頑張ってください。取り組んでいただきたいと思っています。

—— **では最後に、今後の目標を教えてください。**

求人業務に携わった際に、「南

今後もより一層の傾聴と周囲を巻き込む力を身につけ、社員の皆さんに「入社して良かった」と思ってもらえるよう、南星ファミリーの一員として頑張っていきたいと思っています。

周囲の皆さんから掛けてもらえる「ありがとう」の一言が、仕事のやりがいだという寺野さん。これからも力強く南星キャリアックスの未来を切り拓いていくことでしよう。